

デジタル関連（5G、スマートシティ分野を含む）の実装動向等（調査票）

【回答自治体：福岡市】

事業名	mirai@（ミライアット）
実施期間	通年
概要	<p>○公民連携ワンストップ窓口「mirai@」/実証実験フルサポート事業 AI やIoT といった先端技術等を活用した実証実験や共働事業などの民間提案の支援により、社会実装を促進し、社会課題の解決や行政サービスの高質化・効率化に取り組む。</p> <p><令和4年度に開始した主なプロジェクトについて> (※各プロジェクトの詳細については、添付資料をご確認ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoT を活用した“ため池の常時モニタリング”実証実験 ・「交通系 IC カードとタッチ決済の一体型改札機」による乗車システムの実証実験 ・フリーランスが持つスキルを活用した“福岡離島 DX”実証実験 ・“鼻紋認証アプリ「NoselD」で迷い犬をゼロに”実証実験（添付資料なし） <p><前回会合までに発表した内容とその後について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地中レーダー等を活用した地下埋設物の検知 <p>⇒市での実装に向けてさらなる検証や、発注方式の検討を行っていく。</p>

IoT関連（5G、スマートシティ分野を含む）の実装動向等（調査票）

【回答自治体：福岡市】

事業名	福岡 DX コミュニティ内の各ワーキンググループ
実施期間	
概要	<p>○福岡 DX コミュニティ内の各ワーキンググループ 令和4年度は、コンソーシアム会員が企画・運営する下記6WG が活動中（事務局は WG 運営を支援）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「DX ものづくり WG」 ②「医療働き方改革 WG」 ③「Fukuoka Integration X WG」 ④「ドローン利活用 WG」 ⑤「福岡 DX コミュニティ×アビスパ福岡 スポーツテック WG」 ⑥「QDX WG」

市政記者各位

令和4年4月28日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

能古島の魅力発信・来島者増加を目指して 「福岡離島 DX」実証実験を開始!!

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、ランサーズ(株)が運営する、新しい働き方を実践する人たちのコミュニティ「新しい働き方 LAB」のプロジェクトとして、能古島のさらなる魅力発信や来島者の増加を目指した以下の実証実験をスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1.実施事業者

ランサーズ株式会社

(代表取締役社長 秋好 陽介 東京都渋谷区渋谷 3 丁目 10-13 TOKYU REIT 渋谷 R ビル 9F)

2.プロジェクト名

『福岡離島 DX』

新しい働き方 LAB

Empowered by Lancers

3.実証実験概要

能古島を舞台に、地域の方たちと新しい働き方を実践する方たち(マーケティング、web デザイン、SNS 等のスキルをお持ちの方)のコラボレーションにより、島の魅力をより効果的に発信したり、来島者の増加を目指す取組みの計画・実行を行います。こうしたコラボレーションにより地方創生の新たなロールモデル創出の可能性について検証を行います。

4.実証実験場所

能古島 (福岡市西区能古島)

5.実証実験の予定

- 令和4年4月28日～令和4年5月22日 参加者の募集 (※詳細は事業者リリースを参照)
- 令和4年6月～12月 活動期間

6. プロジェクト説明会

- 日時:令和4年5月10日(火)19時00分～20時30分
- 場所:Garraway F、福岡市中央区天神 2-10-3 VIORO 7F(天神駅徒歩3分)
- 説明会申込み URL:<https://peatix.com/event/3227929/view>

7. 問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部

担当:木崎、安原 電話番号:092-711-4879(内線1219)

ランサーズ、個人が新しい働き方を実証実験する「研究員制度」第2期募集開始
～福岡市、ベネッセ、九州の国立大学などが参画、慶應義塾大学教授の前野氏とも連携し
多様な働き方・生き方を考える～

2022年4月28日

ランサーズ株式会社

ランサーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：秋好 陽介、東証グロス：4484、以下『ランサーズ』）の運営するフリーランスコミュニティ「新しい働き方LAB」は、今年も個人が企業と新しい働き方を実証実験する『研究員制度2期生』の募集を開始します。

研究員は働き方に関する研究テーマに即して、数カ月間実践・研究し、報告書にて成果を発表します。研究テーマは企業から指定いただいたものと、個人自らが決定するものの2種類があります。

今回は、福岡市、株式会社ベネッセコーポレーション（サービス名：Udemy）、株式会社日本HP、株式会社LIFULL（サービス名：LivingAnywhere Commons）、九州エリアの国立大学（※）から研究テーマを提供していただくことが決まりました。また、今回は幸福学の第一人者である前野氏（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 兼 慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長）と連携して、研究前後での幸福度変化の測定を実施し、多様な働き方・生き方についても考えます。企業・行政・学校と個人が連携して新しい働き方を研究し、広く発信することで、自分らしく働ける社会の実現を目指してまいります。

福岡市役所（所在地：福岡市中央区天神1丁目8番1号、福岡市長：高島 宗一郎）

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：小林 仁）

株式会社 日本HP（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：岡戸 伸樹）

株式会社LIFULL（本社：東京都千代田区麴町1-4-4、代表取締役社長：井上 高志）

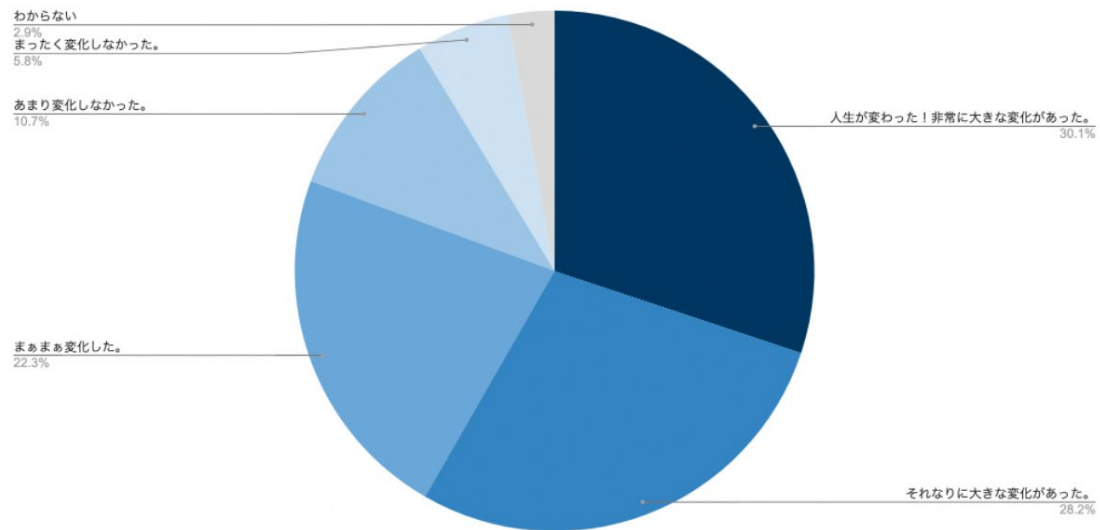
九州エリアの国立大学（近日、大学名公開）

■「研究員制度2期生募集開始」の背景

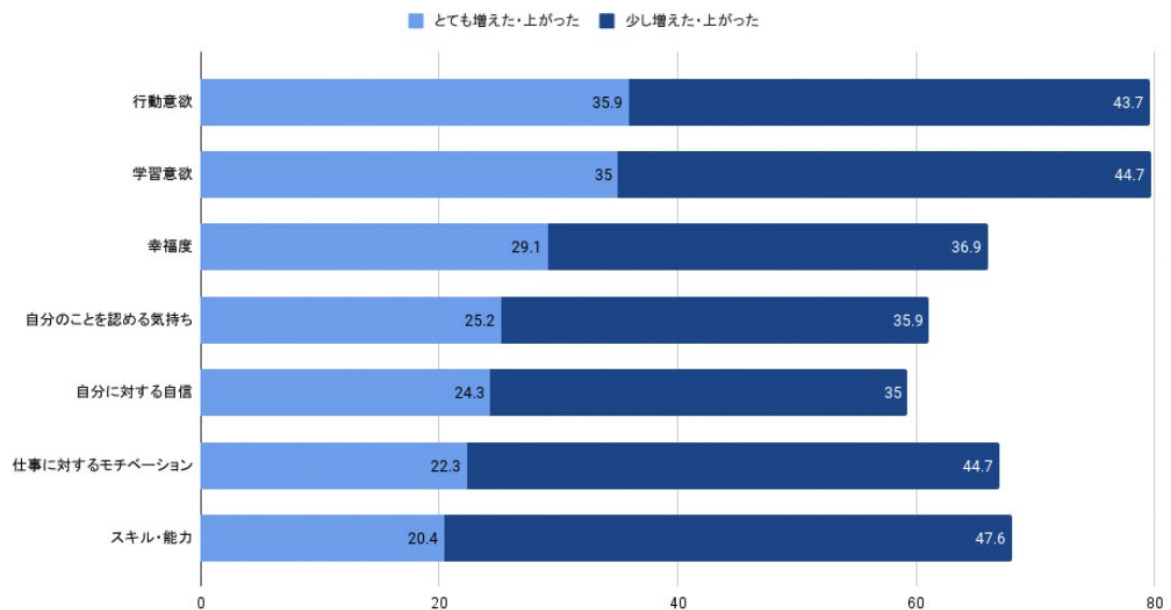
研究員制度1期では1,200件以上の応募があり、選出された300名以上の方が研究員として参加し、各研究テーマに沿って実証実験して参りました。

1期生活動後、参加者を対象にしたアンケートでは、研究員制度を通して変化したと回答した方は80.6%で、その中でも行動意欲や学習意欲が変わったと回答する方が80%近くいることが確認出来ました。これにより、「実験する」というキーワードが起こす行動変化の効果を確信し、本制度を通じてこれからの時代に必要な多様な働き方を推進するために第2期も募集することにいたしました。

研究員制度を通じてどこまで変わったか。



具体的にどのような変化だったか。



■「研究員制度」とは

“実験”をコンセプトに、個人やチーム単位で新しい働き方を研究・発信する制度です。研究員は、働き方に関する研究テーマに即して一定期間実践し、最後には成果をまとめた研究報告書を作成します。それまで挑戦できていなかったことを、コミュニティメンバーと共に乗り越えられるだけでなく、企業指定のテーマに参画した方は、パソコンの貸し出しや教育機会の無料提供などの支援を受けます。また、活動期間終了後は「新しい働き方AWARD」と題する表彰式が開催されます。第1期は、公務員が自らのアパレルブランドを立ち上げた事例、元社員がフリーランスとしてゼロから稼げるようになった事例などが表彰されました。

今回の第2期では慶應大学教授 前野氏とも連携し、株式会社はぴテック監修のもと幸福度を見える化し、「新しい働き方実験」前後の幸福度変化を測定をしていく予定です。より自分らしく、幸せな働き方・生き方を考える機会を提供します。

◇募集期間：～2022年5月22日(日)

◇参加資格：新しい働き方に挑戦してみたい方（雇用形態・年齢・性別・職種等は問いません）

※正式登録時にはランサーズの無料会員登録が必要になります

◇参加希望者はこちら (https://hosting.lancers.jp/lp/lab_researcher/)

■2期生研究テーマ一例

自分のやりたい研究を自由に企画できる「自主企画」と、企業が指定したお題に参画する形の「指定企画」があります。

「指定企画」

フリーランスがチームを組んだら
単独ではムリだった大型案件を
何件受注できるのか？

新しい働き方LAB 1

- ・単独では案件規模に限界を感じる
- ・チームなら広がるのでは?と考えているという方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

離島DX!
フリーランスチームの力で、
小さな離島を改革できるか？

福岡市

- ・自分のスキルを活かして地方創生したい
- ・福岡が好き!旅行・島が好き!という方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

Udemyの講座でスキルを学び、
仲間と大型イベントを実施!
それを通じて稼げる力はあるのか？

Udemy(ベネッセコーポレーション)

- ライティング、Webデザイン、動画編集、SNSマーケティングのいずれかを学びたいという方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

メタバースとAI領域で!
未来を先取りした職種の
創出は可能なのか

新しい働き方LAB 2

- ・最先端技術に興味がある
- ・未来の新職種が気になるという方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

事業構想プロジェクトを実践する学
生チームに、フリーランスのメンタ
ーがつかくと取り組みは加速するか？

九州にある国立大学(近日公開)

- ・自分のスキルを社会に活かしたい
- ・チャレンジする大学生を応援したいという方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

場所に縛られない
“LivingAnywhere”な生活は、
人にどんな変化をもたらすか？

LivingAnywhere Commons(LIFULL)

- ・場所にとらわれない生活をしてみたい
- ・自分の内面を見つめ直したいという方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

幸せを追求した活動で、
幸福度は高められるのか。
(協力: 慶應大学 前野教授)

新しい働き方LAB 3

- ・「働く」と「幸せ」の関係が気になる
- ・前野先生の本や記事に感銘を受けたという方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

クリエイターが地方で
育って増えると
地域活性化につながるのか？

CreativeLAB (by日本HP)

- ・クリエイターになりたい
- ・地方/地元が好きで貢献したいという方にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

現役教師×フリーランス!
先生がクリエイティブを学ぶと
生徒の未来は広がるのか？

日本HP(日本エイチピー)

- ・子どもたちにクリエイティブを教えたい
- ・そのために自分も学びたいという現役教師にオススメ!

[クリックして詳細を見る](#)

※以下は指定企画の一例になります。

■ 『研究員制度』説明会のご案内

研究員制度についての説明会を開催いたします。

ご参加希望の方はお申し込みページをご確認下さいませ。

① 「研究員制度」全体説明会

日時: 5月9日(月) 19:00~20:00

会場：オンライン（Zoomを使用予定です）

お申込みページ：<https://www.lancers.jp/lab/detail/553>

②福岡市研究テーマ、離島DXについての説明会

福岡市役所の担当者が登壇し、今回のプロジェクトについてご説明いたします。

福岡市の研究テーマに興味のある方は是非ご参加くださいませ。

日時：5月10日（火）19:00~20:00（予定）

会場：福岡市内の会場(会場詳細はお申込みページをご確認ください)

オンライン（Zoomを使用予定です）

お申込みページ：<https://peatix.com/event/3227929/view?k=008369184d86f60ecf8ac2294e58dbc36b8927aa>

■「新しい働き方LAB」とは

2019年4月にオープンしたフリーランスコミュニティ×教育サービスです。フリーランスに成長機会を提供するため、「つながり、気づき、学び」をテーマとし、全国17拠点にフリーランス主体のコミュニティを展開しています。ランサーズをキャリア選択の一つとして使いこなすためのセミナー、セルフブランディングや個人経営をテーマとしたワークショップ、新しい働き方に関する情報交換の場など、オフラインとオンラインを組み合わせた成長機会を提供しております。

◇個人との実証実験に参加希望の企業や教育機関、自治体のお問い合わせはこちら(<https://www.lancers.jp/lab/contact>)

ランサーズ株式会社について

ランサーズ（東証グロース：4484）は、「個のエンパワーメント」をミッションに掲げ、個人と企業をオンラインでマッチングする受発注プラットフォームを運営しております。テクノロジーを活用した新しい働き方を提供することで、個人の生活・働き方、あり方を変革し、一人でも多くの個人が働き甲斐を感じられるよりよい豊かな社会づくりに貢献します。また、129万人を超えるフリーランスとの適切なマッチングにより企業の人材不足、生産性向上、DX化促進への課題にも寄与し、外部人材活用によるイノベーション、技術革新を推進しております。

- プロに直接頼めるマーケット「Lancers」 <https://www.lancers.jp/>
- ハイスکیلITフリーランスを紹介「Lancers Agent」 <https://lancersagent.com/>
- オンラインメンターサービス「MENTA」 <https://menta.work/>

お問い合わせ先

ランサーズ株式会社 広報

HP : <https://www.lancers.co.jp/>

メールアドレス : press@lancers.co.jp

電話番号 : 090-8510-4808

市政記者各位

令和4年5月24日
総務企画局企画調整部
交通局マーケティング推進室
福岡地域戦略推進協議会

日本初

【福岡市実証実験フルサポート事業】

「交通系 IC カードとタッチ決済の **一体型改札機**」による

乗車システムの実証実験を、**5月31日より開始**します!!



福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、「クレジットカードのタッチ決済機能を活用した鉄道改札機通過に関する実証プロジェクト」として採択した実証実験が下記のとおり開始されますので、お知らせいたします。

なお、「4 報道機関向け取材会」を行いますので、取材賜りますようお願い申し上げます。



(タッチ決済利用イメージ図: Visa 提供)

1 採択企業

代表提案者	三井住友カード株式会社
共同提案者	日本信号株式会社 QUADRAC株式会社 ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社



2 実証実験の概要

タッチ決済機能付きクレジットカード等(※)を専用の読み取り部にかざすことで、地下鉄の乗り降りを可能とするもの。(※デビット、プリペイド、スマートフォン、ウェアラブル端末含む)

対象駅	天神、中洲川端、祇園、博多、東比恵、福岡空港、呉服町 計7駅
実証期間	令和4年5月31日(火)~令和5年2月28日(火) ※終了時期は変更になる場合があります。
決済ブランド	Visa ※今後、他決済ブランドが追加になる場合があります。
対象ユーザー	・上記決済ブランドのタッチ決済機能付きクレジットカード ・上記決済ブランドのタッチ決済対応スマートフォン/ウェアラブル端末 等

【タッチ決済機能を用いた地下鉄乗車に関する問い合わせ先】

福岡市交通局総務部マーケティング推進室 稲田、江藤 電話:092-732-4120(内線 140-4120)

【福岡市実証実験フルサポート事業に関する問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部 平城、浜部 電話:092-711-4357(内線 1225)

3 具体的利用方法

対象となるタッチ決済機能付きクレジットカード等を、対象駅の自動改札機に装着された(※)専用の読み取り部にタッチいただくことで、地下鉄にご乗車いただけます。

※中洲川端(中洲口)、祇園、東比恵、呉服町の各駅は、駅係員通路に設置の読取部にタッチしてください。

<参考>ご利用イメージ



(入場駅にてタッチ)

(そのまま乗車)

(出場駅にてタッチ)

※料金の設定は大人普通料金のみです。

※Visa のタッチ決済のご利用履歴は、QUADRAC 社が提供する以下 URL よりサイトにアクセスいただき、会員登録手続き後に、ご覧いただけます。(Q-move サイト <https://q-move.info/>)

※詳細な利用方法については、おって福岡市地下鉄ホームページに掲載いたします。

4 報道機関向け取材会

以下のとおり、デモンストレーションを実施いたしますので、取材賜りますようお願い申し上げます。

日 時	令和4年5月31日(火) 11:30~12:30
場 所	中洲川端駅 川端口改札付近(博多リバレイン・博多座方面改札口)
申 込	別添の申込書に必要事項を記入いただき、5月27日(金)12時までに申し込みください。

福岡市
実証実験
フルサポート事業

先端技術等を活用し、社会課題の解決等を目指す優秀なプロジェクトについて、関係部局等との調整や広報支援、実証フィールドの提供、国家戦略特区を活用した規制緩和など、その社会実装に向けた実証実験を福岡市と福岡地域戦略推進協議会 FDC がサポートし、新たなサービス・ビジネス創出を促進します。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/mirai/fullsupport.html>



詳細やこれまでのプロジェクトは
WEB サイトをご覧ください

NEWS RELEASE

各位

2022年5月24日

三井住友カード株式会社
 ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社
 日本信号株式会社
 QUADRAC 株式会社

「福岡市地下鉄」Visa のタッチ決済による実証実験
 ～日本初 交通系 IC/タッチ決済一体型改札機による実証プロジェクト～
2022年5月31日より開始します！

三井住友カード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：大西 幸彦）、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：スティーブン・カーピン）、日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本 英彦）、QUADRAC 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高田 昌幸）は、福岡市地下鉄において、三井住友カードが提供する公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用し、Visa のタッチ決済による一体型改札機通過に関する実証実験を2022年5月31日より実施します。



（一体型自動改札機）



（Visa のタッチ決済読取部）



概要

福岡市地下鉄の一部の駅に**交通系 IC/タッチ決済の両方**がご利用いただける**一体型自動改札機**を設置し、事前購入・チャージを行わずに、お手持ちの**タッチ決済機能付きカード**をご利用いただけます。

（対象 駅）福岡空港、東比恵、博多、祇園、中洲川端、天神、呉服町

（実証 期間）令和4年5月31日～令和5年2月28日（予定）

（対象 者）タッチ決済機能付きカード（クレジット、デビット、プリペイド）やスマホ等をお持ちの方

（決済 ブランド）Visa（今後の展開ブランドについては検討予定）



<Visa のタッチ決済について>

Visa のタッチ決済は、日本を含む世界約 200 の国と地域で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応の Visa カード（クレジット・デビット・プリペイド）または、スマホ等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要（※）で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用頂ける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設など、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。既に海外では広く普及しており、アメリカを除く全対面取引の 70% がタッチ決済で行われております。また、国内の Visa のタッチ決済対応カードの発行枚数は、7,100 万枚、ご利用可能な端末数も 100 万台を超えており（2022 年 3 月末現在）、公共交通機関では、既に世界 500 の公共交通機関で導入、国内においても 17 道府県 22 プロジェクト（本件含む）が進行中で、幅広いシーンで拡大しています。

（※）一定金額を超えるお支払いは、カードを挿し暗証番号を入力するか、サインが必要となります。

<stera transit について>

stera
transit

決済プラットフォーム「stera」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMO ペイメントゲートウェイ・GMO フィナンシャルゲートおよび Visa と共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。

「stera transit」は、「stera」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済「タッチ決済」を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がないという消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」など、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「stera transit」の技術は、MaaS やスマートシティの認証基盤としても活用できます。今後も、全国各地で導入を予定しております。

<共同事業者の役割>

三井住友カード株式会社	プロジェクト総括、キャッシュレス導入支援、 stera プラットフォーム提供 (stera transit)
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社	Visa のタッチ決済に関するソリューション提供・認知プロモーション
日本信号株式会社	交通 IC/タッチ決済一体型自動改札機開発
QUADRAC 株式会社	交通事業者向け決済および認証に関する SaaS 型プラットフォーム “Q-move”の提供

今後も、お客さまにより安全で利便性の高い決済手段を提供し、更なるキャッシュレス化の推進に努めてまいります。

報道公開について

本実証実験に関して以下のとおり報道公開を実施します。

【日 時】 2022年5月31日(火) 11時30分～

【集合場所】 福岡市地下鉄 中洲川端駅 川端改札口付近

【内 容】 (1) 「Visaのタッチ決済」を用いて改札を通過する様子や自動改札機の撮影

(2) 囲み取材

(福岡市交通局、福岡市企画調整部、日本信号(株)、QUADRAC(株)、
ビザ・ワールドワイド・ジャパン(株)、三井住友カード(株))

【申し込み】 参加をご希望の社局様は5月27日(金)12時までに、別紙の申込書に必要事項を記入のうえ、メール (Mail: public_relations@smbc-card.com) でお申込みください。

【その他】 ・取材時は貴社腕章を着用してください。
・当日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場前に各自検温を実施いただき、37.5度以上の発熱や体調不良のある場合は、ご来場をお控えいただきますようお願いいたします。
・ご取材の際は、マスクの着用をお願いいたします。
・改札機通過体験の際は、弊社で体験用のテストカードをご準備いたしますが、ご自身でご準備いただいても構いません。その際は、Visaのタッチ機能付きカードをご準備ください。
※上記テストカードは数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。

以 上

◆本件に関するお問い合わせ先◆

三井住友カード株式会社 / 経営企画部 広報室 TEL : 03-6365-0511

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社 / 広報部 TEL : 03-3210-1650

日本信号株式会社 / 総務部 TEL : 03-3217-7200

QUADRAC株式会社 / 企画部 TEL : 03-6455-4830

三井住友カード広報行き

メール:public_relations@smbc-card.com

【報道公開】
「Visa のタッチ決済」利用の実証実験に関して
5月31日(火)11時30分～ 取材申込書

貴社名	
所属部署 (記者クラブ)	
ご芳名(代表者)	
人数	_____ 名さま
連絡先	電話番号 _____ 携帯電話 _____

5月27日(金)12時までにお送り願います

○受付開始 2022年5月31日(火) 11時00分～

○受付場所 福岡市地下鉄 中洲川端駅 川端改札口
Visa のタッチ決済実証実験報道公開受付

※当日は貴社腕章のご着用をお願いします。

令和4年7月1日

市政記者各位

福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

IoTを活用した“ため池の常時モニタリング”

「浸水検知システムによる危機管理」実証実験開始

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しております。

この度、「浸水検知システムによる危機管理」として採択した実証実験が下記のとおり開始されますので、お知らせいたします。

なお、このプロジェクトは、豪雨発生時の、ため池等管理者の現地確認の危険回避や、リアルタイムでの情報収集による避難判断の迅速化につながるものであることから、採択に至ったものです。

記

1 事業者

東亜建設技術株式会社（本社：福岡市）



2 実証実験の内容

(1) 概要

浸水センサーを活用し、ため池の浸水状況を遠隔・リアルタイムで把握する浸水検知システムについて、現場での適切な運用環境や技術的課題の検証を行う。

(2) 実施場所

高見池（福岡市東区高美台2丁目）

虚空蔵池（福岡市西区大字飯盛）

(3) 期間

令和4年7月～令和4年10月末 ※予定



【お問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部

担当：木崎、大藪 電話：092-711-4879（内線1219）



2022年7月1日
東亜建設技術株式会社

『浸水検知システムによる危機管理の有効性検証』 の実証実験を開始しました。

東亜建設技術株式会社は、「浸水検知システムによる危機管理の有効性検証」の実証実験を開始しました。なお、同実証実験は「福岡市実証実験フルサポート事業」に採択されたプロジェクトとして実施するものです。



■ 実証実験の概要

豪雨発生時等、非常時における適切な状況把握を可能とし、避難判断の迅速化等を目指すため、IoT機器を活用し、浸水状況を遠隔・リアルタイムで把握する浸水検知システムについて、ため池現場での適切な運用環境や技術的課題の検証を行います。

■ 防災 DX ソリューション「浸水検知システム」の概要

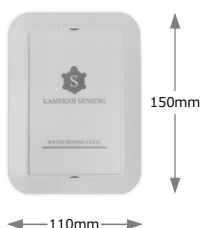
「浸水検知システム」とは、LTE ネットワーク対応の通信機器を内蔵した低コストかつ小型な浸水検知センサを、河川やため池、用水路、アンダーパス等に設置することで、浸水状況のクラウド上での収集管理を可能とする Web アプリケーションシステムです。

センサが浸水を検知した際は、地図機能（GIS）を有した浸水検知システムの画面上で警告が表示されるため、浸水状況が位置情報とともに見える化されます。

この情報をメールや LINE 通知等により防災担当者や施設管理者に周知することで、適切な避難判断と住民の方々の円滑な避難行動につながるものです。

機器の導入コストを抑えることで多くの箇所へ設置することができるため、面的な状況把握を実現します。

浸水検知センサ



■ 当リリースに関するお問い合わせ先

会社名：東亜建設技術株式会社

担当者：奥薗 剛

所在地：福岡市西区西の丘 1 丁目 7-1

e-mail : okuzono@toa-ct.co.jp